

【大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院の概要】

病院名:大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院

所在地:大阪市天王寺区烏ヶ辻 2-6-40

電話:06-6771-6051(代表)

病床数:650床(ICU 28床、HCU 28床、SCU 9床、一般病棟ほか 15病棟)

<病院の特徴>

大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院は、2025年1月に新病院として開院した三次救急医療機関であり、大阪府地域医療支援病院および大阪府がん診療拠点病院としての機能を担っています。

大阪市東部医療圏に位置し、半径5km圏内に500床超の高度急性期病院が集積する医療密集地域において、救急医療・高度専門医療・がん医療を柱とした役割を果たしています。

新病院では「スマートホスピタル」をコンセプトに掲げ、ICTや医療機器の高度化を通じて、患者中心で安全かつ効率的な医療提供体制の構築を進めています。

病院実績 (参考:2025年12月統計)

入院単価		123,556円
外来単価		30,325円
延入院患者数		18,062人
延外来患者数		37,592人
入院患者数(日)		583人
外来患者数(日)		1,790人
病床利用率(%)		84.7%
新入院患者数		1,907人
初診外来患者数		2,485人
平均在院日数		8.7日
手術件数		892件
院外処方率		16.1%
薬剤管理指導算定件数		1,530件

＜薬剤部運営の特徴＞

薬剤部では、新病院開院を契機に、

- ① 対人業務への本格的シフト
- ② タスク・シフト／シェアの推進
- ③ 調剤機器の高度活用による業務再設計

を三本柱とした運営体制を構築しています。

地下1階のセントラルでは、院内外来処方せん約600枚／日、入院処方せん約500枚／日に対応し、外来化学療法約700件／月、入院化学療法約300件／月の調製業務を担っています。BD ROWA（自動在庫払出口ロボット）、Multicase-unit（自動調剤棚）、Elen-01（全自動秤量散薬分包機）、MDM・MDC（鑑査支援システム）、注射薬自動払出システム等の調剤機器とシステム連携を統合的に運用し、効率化と安全性の両立を図るスマートファーマシー体制を実現しています。

薬剤師と薬剤補助員（非薬剤師）が明確な役割分担のもと協働し、業務の標準化と最適化を推進しています。また、障害者雇用にも積極的に取り組み、多様な人材が活躍できる持続可能な組織づくりを進めています。

これらの基盤整備により、薬剤師が病棟・外来における対人業務へ注力できる体制を整備しています。薬剤師外来では、がん薬物療法およびリウマチ薬物療法を中心に実施し、NST・AST・ICTなどの多職種チーム医療に主体的に参画しています。

さらに、手術室および集中治療センターにサテライトファーマシーを設置し、薬剤師常駐体制を確立しました。術前・術中・術後管理の標準化テンプレートを整備し、周術期薬剤管理加算を算定しています。薬剤師主導でPBPMを策定し、TDMをはじめとするさまざまな代行入力・修正を薬剤師が実践しており、質・安全性・経済性を統合的に意識した薬物療法管理体制を推進しています。

＜見 学 時 間＞

14:00 ～ 16:00

＜受入れ予定人数＞

10名程度

＜見学者の集合場所＞

1階正面玄関入って左手（ローソン前付近）

<交 通 機 関>

- ・ JR をご利用の方：環状線「桃谷駅」より西へ徒歩約 5 分
- ・ 近鉄をご利用の方：「大阪上本町駅」より南へ徒歩約 20 分、または大阪シティバスで約 10 分
- ・ 大阪メトロをご利用の方：谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」から東へ徒歩約 20 分

